

子育て環境の向上に資する公園の在り方

静岡英和学院大学 人間社会学部 永田研究室

指導教員：准教授 永田 恵実子

参加学生：村上桜、伊東里紗他（乳児保育Ⅱ受講学生）

1 要約

保育者をめざす学生たちが、公園が子育て環境の一部であることを鑑み、親子とくに、3歳未満児（以後未満児と記す）が楽しめる公園の在り方について調査した。①公園を視察し調査②公園を利用する親に聞き取り調査③公園に対するアンケート調査。その結果、未満児の子どもが安心して使える施設設備が少ないことが理解できた。また、公園利用者から、遊具や設備の安全性などの観点から整備を望む声があることがわかった。

2 研究の目的

2016年度静岡県は、県内子育て支援センターを利用する親1128人を対象者に、2016年6月「子育てニーズ調査（子育てに関する意識）」のアンケート調査を行った。結果の中で興味深かったことは、子育て環境として利用する公園整備を望んでいる保護者が多くいたことであった。（以下原文ママ）。

- ① 公園のアスレチックの治安が悪い。もっと公園の環境を整え子どもが安心して遊べるスペースをつくって欲しい。
- ② 自分の子どもの時と比べてしまう。毎日友だちと外であそんでいた。今、周りの子と同じようなゲームを買ってあげ、習い事に忙しい毎日に疑問を感じる事もある。のびのび育てる環境が欲しい。
- ③ 子どもたちが元気よく遊ぶことができる公園がまだ少ない。遊具などが充実した公園がもう少しあると良い、などであった。

こうした意見を踏まえ、今回は永田研究室と「乳児保育Ⅱ」を学ぶ学生9人と共に未満児と保護者が安心して過ごせる公園環境の調査を行い、問題の詳細を明らかにすることを目的として研究を行うことにした。

期待される成果として、保護者たちには、子育て環境として活用する公園環境の向上がある。また、保育者をめざす学生たちには、保育や育児の公園環境の在り方を理解することができると考えた。

3 研究の内容

(1) 方法

1) 学生（乳児保育受講生とゼミ学生）たちが静岡市内公園数か所に出向き、視察調査、利用する親子への聞き取り調査。実施時期：2016年10月～11月、12月に学生が成果発表会を行う。

2) アンケート調査

ア、調査する学生と永田ゼミ学生

イ、静岡市と焼津市の保育所を利用する保護者

ウ、実施時期：2016年12月～2017年1月

(2) 結果と考察

1) 学生による公園視察調査と保護者への聞き取り調査（調査場所：駿府公園、駿府匠宿、清水船越場公園、広野海浜公園、日本平運動公園、静岡市こどもクリエイティブタウンま・あ・る、東静岡・スマイル公園、池田東静岡公園）を行った。

ここでは、12月19日に発表した池田東公園と駿府公園2つの調査グループの一部を報告する。



乳児保育ⅡB 公園調査

池田東静岡公園

【1班】小林実美 梅原愛里 三宮千奈 江畑和磨
岩本藍美 多々良太郎 青野里咲 上村健介



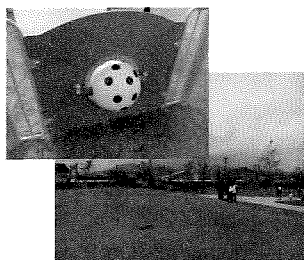
子どもが楽しめるところ(0歳児)

- ・ベビーカーがひきやすいよう、舗装された道がある。
- ・遊具の近くにベンチがあり、親や兄弟と一緒に空間にいられる。



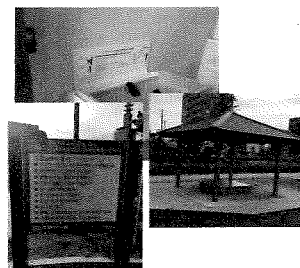
子どもが楽しめるところ(1, 2歳児)

- ・広場が芝生になっている。
- ・蛇口を出して水を出し、水遊びを楽しんでいた。
- ・つかまり立ちをして遊ぶところがある。
- ・階段を上って、大きい滑り台で保護者と一緒に遊んでいた。



親子支援の場所

- ・トイレにおむつ台がある。
- ・屋根のある休憩スペースがある。
- ・ベンチが遊具の周りにある。
- ・階段が少ない。
- ・スロープがある。



保護者からの聞き取り調査

良いと思う点

- ・産る場所が多い。
- ・電車や新幹線が見える。
- ・遊具が充実している良い。
- ・階段が少ない。(なだらかな平地)
- ・広いので、大きい子供が遊んでいても安全。
- ・自転車を通れる舗装された道がある。
- ・雰囲気がよい。
- ・異年齢の子どもがたくさんいるので、子ども同士、交流の場になっている。

改善してほしい点

- ・砂場、鉄棒、ブランコなど王道の遊具が無い。
- ・使いやすい駐車場が無い。
- ・授乳スペースがない。
- ・水遊び、砂場が無い。
- ・屋根がある休憩スペースが少くない。
- ・すべり台などの階段が少し多い。



まとめ


【公園調査を終えて】

- ・公園の役割
- ・乳幼児とその保護者が使いやすく、楽しい公園に必要な配慮

(例)

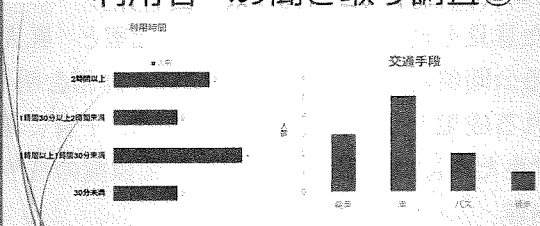
- ① 親子支援
 - ・授乳スペースがあるとよい。
 - ・屋根のある休憩スペースを増やす。
 - ・無料の駐車場などを設置することで、自動車でも公園を利用しやすくなる。
- ② 乳幼児の遊び
 - ・砂場があるとよいと思う。(周りにネットをはる等、衛生面に配慮する。)
 - ・水遊びが出来るよう、人工的な小川を作ったりする。

駿府城公園 特徴



- ・広い芝生の公園があり、大道芸ワールドカップなどのイベントが開催される。
- ・鷹狩中の家康公の消像や、家康公が植えたとされる「お手植えみかんの木」がある。
- ・四季折々老若男女が楽しめる憩いの場

利用者への聞き取り調査①



利用頻度

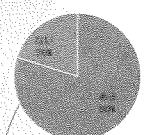
利用頻度	人数
2時間以上	10
1時間30分以上2時間未満	15
1時間以上1時間30分未満	25
30分未満	10

交通手段

交通手段	人数
徒歩	10
車	25
バス	10
徒歩	5

学生への聞き取り調査

駿府城に行ったことがあるか



◎行った理由

- ・時間潰しの散歩
- ・イベント
- ・学校の遠足
- ・部活動

◎行った時に思った改善点

- ・遊具がもっと欲しい(乳児向け)
- ・自動販売機
- ・トイレの数を増やしてもっと綺麗にする
- ・屋根付きの休憩するところが欲しい

私たちが考えた改善点

- ◎トイレ
 - ・設置個所を増やす
 - ・男性用トイレにもおむつ替え台(チェンジングテーブル)を設置する
- ◎遊具
 - ・使用禁止の遊具を撤去、新しい遊具の設置
- ◎その他
 - ・屋根付きのテーブルや椅子を設置する
 - ・自動販売機の設置個所を増やす

2) 学生と保護者の公園アンケートの結果(調査数: 学生91人、保護者148人)

アンケートは学生91人、静岡市と焼津市の保育所を利用する保護者148人に配布した。アンケートの回答率は100%であった。

① 性別

アンケート調査の回答者は、学生は女性が8割以上、保護者は女性が9割以上であった。どちらも女性がほとんどであった。

図1-1) 性別 (学生)

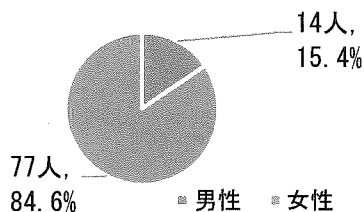
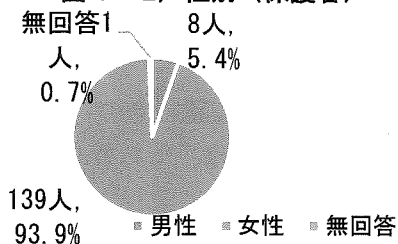


図1-2) 性別 (保護者)



② 主に利用する公園 (複数回答可)

学生は、駿府公園を利用すると回答した人が41人と一番多く、保護者は、その他の公園を利用すると回答した人が97人と一番で、次に広野海浜公園と回答した人が38人であった。

図2 利用する公園 (複数回答可)



① 保護者 148 人の公園の満足度 5 段階評価 (図3~図6 参照)

満足度項目 5~4 評価に注目すると、利用のしやすさ 59.4%、便利さ 51.7%、案内表示の分かりやすさ 31.7%、施設等の内容の充実は 39.9% となった。案内表示と施設内容は 5~4 評価は 4 割以下であった。

図3 満足度 (利用のしやすさ)

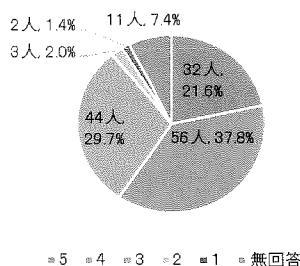


図4 満足度 (便利さ)

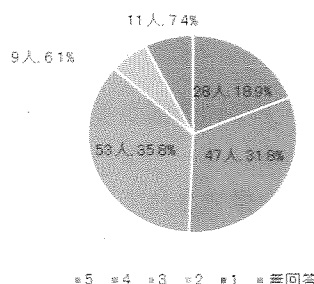


図5 満足度 (案内表示の分かりやすさ)

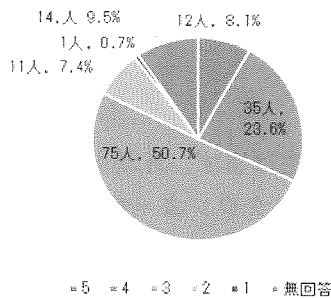


図6 満足度 (施設等の内容の充実)

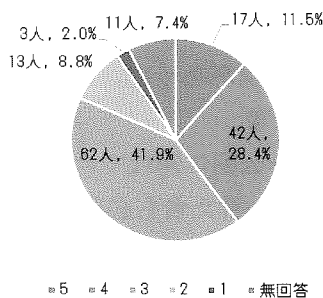


図7 施設設備 (清潔さ)

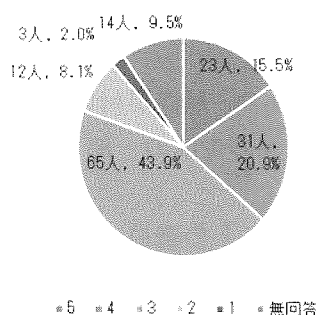
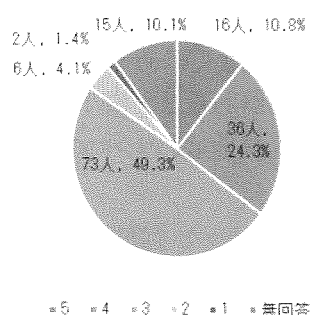


図8 施設設備 (安全性)

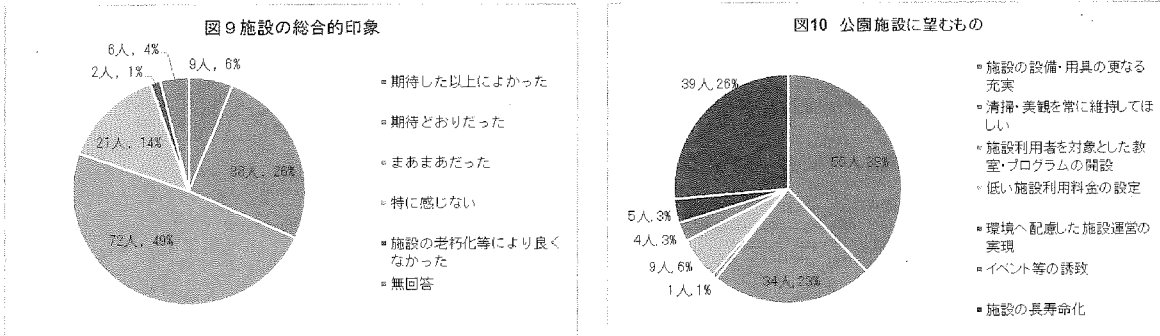


③ 保護者 148 人の公園の施設設備についての 5 段階評価 (図 7～図 8 参照)

施設設備の項目について5～4評価に注目すると、清潔さ36.4%、安全性35.1%、と共に4割を切っていることがわかった。

④ 公園の総合的印象と施設に望むもの (図 9～図 10 参照)

施設の総合的印象としては、まあまあだったと答える人が49%、期待どおり26%で施設の印象は悪くはない様子であった。また、公園に望むものとして、施設の更なる充実38%や清掃を維持して欲しい23%というものが多く、環境についても改善をして欲しいという意見が多くあった。



4 研究の成果

(1) 当初の計画

ほぼ、当初の予定のペースで調査を行うことができた。静岡市職員の方に授業内に講演をしていただいたことで曖昧だった公園の知識を得ることができた。そこから学生の活動が活発化していった。

(2) 実際の内容 (B一部修正) とその理由

対象者を未満児の親子にし、公園利用について聞き取り調査を考えていたが、調査を行った日は、学童とその親が多く未満児の利用は少なかった。朝のうちなど時間の限定があることが学生の報告から理解できた。未満児親子の利用しやすい公園を限定し特定の時間を決めて調査に行く必要があった。

(3) 実績・成果と課題

- ① おむつ替え台が少ない公園が多かった。男性用トイレにもおむつ替え台 (チェンジングテーブル) 設置する必要がある。
- ② 使用禁止の遊具を撤去されていなかった。そこに、新しい遊具を置くなどが必要。
- ③ 日差しよけや雨よけの屋根付きのテーブルや椅子を設置する。赤ちゃんのお出かけは荷物が多いのでテーブルがあると便利。また、夜間、街灯が少なくすごく怖いためを増やしてほしい。
- ④ 自動販売機の設置個所を増やす。夏場は脱水症状を防ぐことができる。冬場は温かい飲み物も必要。
- ⑤ 駐車場が無料であると利用しやすい。未満児はミルクや着替えなど荷物が多いため。
- ⑥ 猫の多くいる公園があった。

(4) 今後の改善点や対策

未満児の子どもを公園に連れていくために必要な施設設備として、学生はまず、乳幼児用トイレを挙げている。さらに、おむつ替え台も必要である。『静岡市子どもクリエイティブタウンま・あ・る』は室内であそぶ施設であるが、大きい兄弟と一緒につれていった赤ちゃんをずっと抱っこしているのは大変なため、子どもをおろせる環境があり、安心して未満児を連れていくことができる場所があることがわかった。

5 地域への提言

今回の公園調査を行い、未満児親子が利用しやすい公園とは、ユニバーサルで利用しやすい公園であるとわかった。①駐車場が近くにあること②清潔感があり整備されていること③スロープがあること④遊具であそび動き回れる広場があること⑤トイレが整備され⑥ベンチが数か所にあり、屋根が付いているベンチもあること、など、それが地域のすべての人が利用しやすい公園であり、日々の生活の一部となる場であった。

6 地域からの評価

学生が視察調査を行った『静岡市子どもクリエイティブタウンま・あ・る』の職員の方が取り組みに興味を持って、学生成果発表会に来てくださった。「学生の研究から気づくことがあった」と、お褒めの言葉をいただくことができた。このような交流を深めていくことが、地域活動の活性化につながると考えられた。

写真1 静岡市こどもクリエイティブタウンま・あ・る (乳児用トイレ設備)

トイレ設備

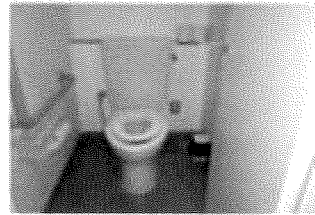
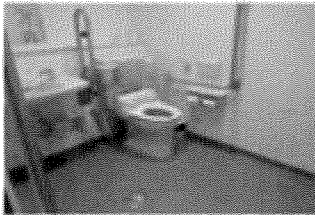
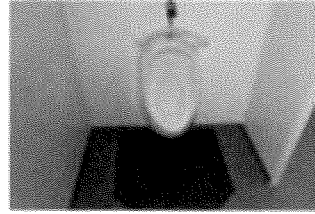
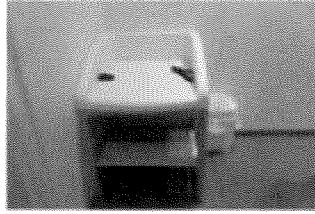
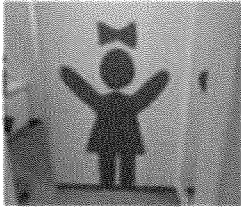


写真2 清水船越場公園

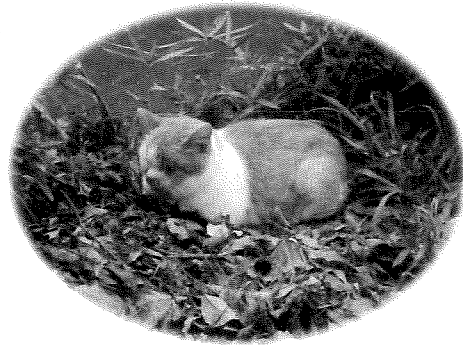
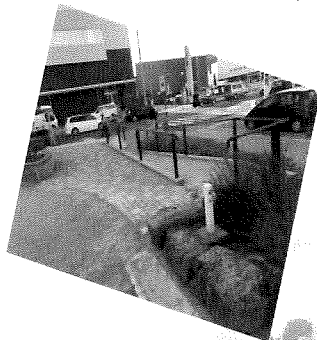


写真3 東静岡スマイル公園

😊スロープ😊

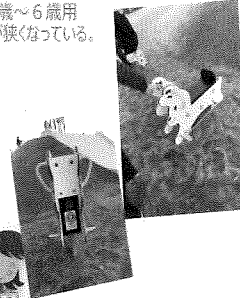
・ベビーカーも車いすも、階段を上るのが大変な方も…

みんなが使いやすい公園♪



⑥スプリング

・3歳～6歳用
幅が狭くなっている。



・7歳以上用
お母さんも隣と一緒に乗って楽しめる！

